

キャラクター名
マリナ (本名: 豪山 撃)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ハヌマーン		ワークス	不良高校生	カヴァー	
	オプショナル		年齢	18	性別	オネエ
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自		経験		邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	3	1	0	1		5	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	1	0	0	1		2	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:	3		芸術: 裁縫	1		知識:			情報: 裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
拳	白兵	5r+3	6	+LV+5		
益荒男 浸食値: 24	白兵	8r+3	6	+2D+LV+5+LV+3		
千手観音菩薩 侵蝕値 11+6	白兵	5r+4		+LV+5		
天地一例 侵蝕値: 28	白兵	5r+4				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: FH	
コネ: UGN	
コネ: オネエ仲間	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス・音使い	P	N		
青峰 ミユキ	P 好奇心	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ・ハヌマーン	1	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	CL-2値							
マシラのごとく	2	5	メジャー	-	対決	シンドローム	80	
効果:	このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力LV×10する。このエフェクトを組み合わせた判定のダイスは-5個される。このエフェクトは1シナリオに1回まで使用できる。							
異形の転身	1	5	イニシア	至近	自身	自動	-	
効果:	他エフェクトと組み合わせ不可。イニシアチブプロセスで戦闘移動を行える。この戦闘移動で離脱を行うことができる。							
骨の剣	1	3	マイナー	至近	至近	自動	-	
効果:	素手のデータを変更。							
電光石火	1	3	メジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果:	このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+「LV+1」個。ただしあなたは1d点HPを失う							
音速攻撃	1	3	メジャー	武器	対決	白兵	-	
効果:	このエフェクトを組み合わせた攻撃のダイスを+LV個する。							
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自動	-	100	
効果:	そのメインプロセスではあなたはメジャーアクションを2回行える。判定がは制する場合、それぞれ別途に処理すること。またそのメジャーアクションでは判定のクリティカル値を+1する。このエフェクトは1シナリオ1回まで使用できる							
バトルビート	1	2	マイナー	至近	自動	-	-	
効果:	そのメインプロセスの間、あなたが行う葉ヌマーンのエフェクトを使用した判定のダイスを+LV個する。							
擬態の仮面	★	-	メジャー	至近	自動	-	-	
効果:	もし誰かがこの変化を見破ろうとした場合、知覚による対決を行うことなお元の姿にはオートアクションで戻れるが再び変身するにはこのエフェクトを使わなければならない。							
七色の声	★	至近	メジャー	自身	自動	-	1	
効果:	任意の声を持つことができる。ただし外見は変わらない。もし誰かが子の声、の返送を見破ろうとした場合、知覚同士による対決を行うこと							
効果:								
効果:								
効果:								

性格はやさしいが怒ると手がつけれない。この言葉はこのオネエに対してのためにある言葉だ。
 一人人称はあたしかわたし。 二人称はあなたたち。
 不良高校生だが根が優しく。いろいろと生徒や先生たちのよりどころと化していることがある。
 しかし親しい人物が襲われていたら話は別でブリッコながら男言葉を口にし思いきり叩き伏せる。
 体格は本当に高校生かと思われるほどでかい。

生まれた時、から高校生になってからようやく自分の力が特殊なものだときずいた
 だがこの男、それがどうしたというに小説などをたしなんている。